



事業名	飲む野菜『八百屋さんのベジブロス』 未利用野菜を使用したドリンク販売事業			関連する ゴール	
KPI	受注件数	達成 時期	2月	ターゲット	2-3、8-9、11-a、12-3
取組の概要	横浜中央市場の仲卸業者として、自社にて廃棄される野菜や農家さん（特に神奈川県内）の出荷されず廃棄される野菜の有効活用と、野菜をもっと気軽に生活の一部として取り入れて欲しいという思いから、新感覚の飲む“野菜出汁”『八百屋さんのベジブロス』を健康志向の人たちの市場で500円程度でweb販売することにした				
取組のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の栄養（ファイトケミカル）が豊富で、ストレートの状態で経口摂取できる ・ベジタブルファースト（食前接種で血糖値の上昇を抑える）の考えや野菜不足等、食での健康をサポート ・新たな価値創出による生産地での所得向上、敷いては農業の担い手を増やす事ができる 				
来年度以降のビジョン・取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄野菜を使用した新たな商品開発 ・農業のあり方や環境問題等の発信と取組みをしていく 				
他の主体との連携	中央市場物産株式会社				



デザインセンター
コーディネーター
鳥海 彩

廃棄野菜の有効活用と野菜による健康サポートについて、商品化を通じ貢献されたという環境と経済に特化した事例です。今年度はスタートアップでプロダクトファーストの側面も強かったと思います。来年度以降、健康・未病等側面でどれくらいの効果があったか検証しながら、消費者に寄り添った商品開発を期待します。その際には、健康に関わる専門家や治験対象となってくれる市民ボランティアなど多くを巻き込めると更に素晴らしいアクションとなるでしょう。

